

— パロマ瑞穂スタジアムの供用開始に合わせ、地域の魅力を発信 —
親子で作って遊びながら学べる無料プリントコンテンツ
「Mizuho Park をつくろう！」を公開

ブラザー工業株式会社（本社：名古屋市、社長：池田和史）の国内販売子会社であるブラザー販売株式会社（本社：名古屋市、社長：安井宏一）は、プリンターを活用して楽しめる無料ダウンロードコンテンツ配信サイト「プリふれ」において、パロマ瑞穂スタジアムの供用開始に合わせた新コンテンツ「Mizuho Park をつくろう！」を本日公開しました。



プリふれは、「プリンターで『みんな』とふれあう・『つくる』とふれあう・『紙』とふれあう」をテーマに、親子と一緒に楽しめるペーパークラフトなど、多様なコンテンツを提供しています。

今回、名古屋の新たなランドマークとなるパロマ瑞穂スタジアムの供用開始を機に、子どもたちが地域への関心や愛着を深めるきっかけをつくりたいと考え、株式会社 瑞穂 L O O P - P F I ※¹と共同で本コンテンツを制作しました。本日供用開始したパロマ瑞穂スタジアムは、約 30,000 席の屋根付き競技場として整備され、9 月から開催されるアジア最大のスポーツイベント「愛知・名古屋 2026」のメイン会場となる予定です。

ブラザー販売と瑞穂 L O O P - P F I は、これまでもペーパークラフトを活用した子ども向けワークショップなどを共同で開催してきました。

ブラザー販売は、SDGs の達成に向けて「つなぎ合う、そして解決し合う社会の実現」を目標に掲げ、さまざまな活動を展開してきました。これからも当社が持つ資産を活用しながら、地域のパートナーと連携して社会課題の解決に取り組んでいきます。

※¹株式会社瑞穂 L O O P - P F I は、パロマ瑞穂スタジアムを含む瑞穂公園の指定管理者です。

●「Mizuho Park をつくろう！」概要



パロマ瑞穂スタジアムをはじめとするスポーツ施設や公園が集まる名古屋市瑞穂公園を題材にしたペーパークラフトコンテンツです。紙を切る、貼る、色を塗るといった工程に加え、台紙に書かれたヒントを頼りに、野球場やテニスコートなどのパーツを配置していくことで、マップが出来上がっていきます。

近年、スマートフォンなどのデジタル機器が身近になる一方で、子どもが五感を使い、手を動かしながら取り組む体験の重要性も指摘されています。本コンテンツは、工作ならではの身体を使った体験だけでなく、親子で取り組むことで、会話を交わしながら地域の魅力にも触れられる内容となっています。

■無料コンテンツ配信サイト「プリふれ」

<https://online.brother.co.jp/ot/dl/purifure/>

■「Mizuho Park をつくろう！」

<https://online.brother.co.jp/ot/dl/purifure/asobi/others/#mizuho>

<ブラザー 報道関係 お問い合わせ先>

ブラザー販売株式会社 マーケティング・DX 推進部 コミュニケーション企画・広報 G 船橋

TEL : 03-3274-3771(東京ショールーム内) FAX : 03-3281-4462 E-mail : kouhou@brother.co.jp